

「私たちから始める“車に頼らないまちづくり”」をメインテーマとして、自動車から公共交通への転換をどのようにかはるべきかについて考察し、「地域巡回バスの利用促進」、「街歩きの視点で見た名古屋都心部」、「都心における路面電車・LRT“平成名古屋市電”を考える」、「名古屋西部の交通不便区域における公共交通のあり方」などからなるサブテーマを設定し、“脱くるま”のための公共交通利用促進策を提案した。

地域巡回バスの利用促進

地域巡回バスの定着と利用促進を図ることを目的に、新しい地域巡回バスの運行開始後間もない時期の全路線(22系統)に乗り、各路線の乗客の状況や、運転手との交流・会話、車内の出来事など記録をとりまとめ、これらの体験をもとに

- 「バス停そばの町内会で地域巡回バスの周知徹底PR」
- 「バスルートの観光名所・名物を案内」
- 「夏場の運行時間の延長なども含めた利便性の向上」
- 「バス内での展示会(子供の図画の展示や書道展など)」
- 「愛称(ニックネーム)の設定」

などのアイデア・促進策を提案した。

都心における路面電車・LRT『平成名古屋市電』を考える

環境に優しい交通手段である路面電車やLRT(ライトレールシステム)の再生を市民が考えることで、“脱クルマ”への意識改革のきっかけになるのではないかと考え、快適な都心回遊を目的に、“名古屋の個性を生かした「金シャチ電車」”や“物づくり名古屋のハイテクでモダンなLRT”による都心の路面電車の再生を提案した。



交通不便区域における路面電車“名古屋西部田園線”構想

鉄道網などの公共交通機関の整備が十分でない交通不便地域である名古屋西部における公共交通のあり方について考察し、将来、地下鉄に替わる交通手段として、高齢者などの弱者に優しいとされる路面電車(新交通)による新しい公共交通「名古屋西部田園線」について考えてみた。